

■ 令和2年度決算概要

令和2年度は、入学者数が堅調に増加し、収入は学生生徒納付金を中心に増加しました。

一方、支出は新型コロナウイルス感染拡大の影響等で経費増となりましたが、設備投資計画を見直すことにより増加額を一定限度に押さえた結果、次年度繰越金は6年連続で増加しました。

また、事業活動収支計算書の経常収支差額についても、4年連続の黒字となりました。

決算概要は下記のとおりです。

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、学園の1年間の教育活動その他の諸活動のすべてを資金の動きで捉えたもので、当該会計年度における収入と支出の内容、ならびに支払資金（現金預金）の収支の顛末を明らかにしています。

令和2年度決算は、資金収支差額で278百万円の黒字を確保し、翌年度繰越支払資金は2,106百万円となりました。

収入については、入学者数が堅調に増加し、また大学における中退率の大幅な減少が奏効し、学生生徒納付金を中心に増加しました。支出については、人件費及び経費が増加しましたが、設備投資計画を見直し、増加を一定限度に押さえることができました。人件費の増加は主に退職金の増加、経費の増加は新型コロナウイルス感染拡大等に伴う、学生サービスの維持・向上及び経済的支援の強化等によるものです。

なお、次年度以降の設備投資に向けて、200百万円の施設設備維持特定資産繰入を実施しています。

【第1表】

資金収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位 百万円)

収入の部			
科 目	元年度 決算	2年度 決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,208	2,345	137
手数料収入	61	65	4
寄付金収入	32	52	20
補助金収入	623	667	44
その他収入	565	548	△ 17
資金収入調整勘定等	△ 389	△ 445	△ 56
前年度繰越支払資金	1,577	1,828	251
収入の部合計	4,677	5,060	383
支出の部			
科 目	元年度 決算	2年度 決算	差異
人件費支出	1,711	1,825	114
教育研究・管理経費支出	728	796	68
借入金等利息支出	12	10	△ 2
借入金等返済支出	87	86	△ 1
施設・設備関係支出	253	159	△ 94
資産運用支出	0	200	200
その他の支出	156	111	△ 45
資金支出調整勘定等	△ 97	△ 233	△ 136
翌年度繰越支払資金	1,828	2,106	278
支出の部合計	4,677	5,060	383
資金収支差額	251	278	27

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、学園財政の健全性を見るもので、当該年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容、さらに基本金組入後の均衡の状態を明らかにしています。

企業会計でいえば損益計算書に相当しますが、学校法人は営利目的ではないため、収支の均衡を目的としています。

令和2年度決算は、経常収支差額で282百万円の黒字を確保しました。平成29年度以降黒字を維持し、かつ黒字額も4年連続で増加しました。

【第2表】

事業活動収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位 百万円)

	元年度 決算	2年度 決算	差異
教育活動収入	2,950	3,202	252
学生生徒等納付金	2,208	2,345	137
手数料	61	65	4
寄付金	32	52	20
補助金	595	658	63
その他収入	54	82	28
教育活動支出	2,719	2,910	191
人件費	1,728	1,843	115
教育研究・管理経費	991	1,067	76
教育活動収支差額	231	292	61
教育活動外収入	0	0	0
受取利息・配当金他	0	0	0
教育活動外支出	12	10	△ 2
借入金利息他	12	10	△ 2
教育活動外収支差額	△ 12	△ 10	2
経常収支差額	219	282	63
特別収入	28	11	△ 17
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	28	11	△ 17
特別支出	95	3	△ 92
資産処分差額他	95	3	△ 92
特別収支差額	△ 67	8	75
基本金組入前当年度収支差額	152	290	138